



令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について

加古川市立氷丘南小学校

令和5年4月18日に、6年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、概要をお知らせします。

【学力調査 国語】

《成果と課題》 ◎:成果、▲:課題

◎平均正答率、全国平均を大きく上回っている。

◎漢字を使って書き直す問題（「いがい（意外）」「きかん（期間）」においても、同様の傾向が見られた。

この項目は昨年度課題とされた分野である。

▲「～というのは、どのような姿ですか。」の質問に適切なものを選択する問題において、全国平均に比べて無回答率が高い傾向が見られた。

《今後の指導》

- ・ 昨年度の課題点が克服されているが、新たな課題が浮き彫りとなった。選択問題なので、回答不能という問いではないので、結果を受け止め、指導方法の改善・工夫に取り組みたい。

【学力調査 算数】

《成果と課題》 ◎:成果、▲:課題

◎平均正答率、全国平均を大きく上回っている。

◎無回答率は、全国平均に比べて低く、特に記述式の問題においては、県や全国の平均より大幅に低い。これは日ごの学習の中で言葉や数、式を使って理由や求め方を書いたり説明したりする活動に取り組んでいる成果であると考えられる。

◎前年度の傾向として、記述式で解答する問題において、やや誤答が多かったが、今年度は全国平均を上回る結果を得ることができた。

《今後の指導》

- ・ 平均正答率は全国平均を上回っており、記述式問題も自分の知識を活用して最後まで書こうと努力した児童が多い。昨年度の課題を克服できたことで気を抜かず、児童の実態から目を背けることなく、指導方法を工夫していきたい。

【児童質問用紙調査】

◎「自分には良いところがある。」「先生はあなたの良いところを認めてくれる。」

「地域の行事に参加している。」学校外の学習時間（3時間以上/日）。

以上、肯定的回答が、全国平均比を大きく上回っていた項目。

- ・ 地域や家庭の教育力が高いことに加えて、学校では日々の学習や行事を通して自己肯定感を高める取り組みを重ねてきたことの成果が表れていると考えられる。

▲「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」「国語の勉強は好きですか」

以上、肯定的回答が、全国平均比を大きく下回っていた項目。

- ・ コロナ禍において話し合い活動や、協同的学習が制限されていた影響もあると思われるが、協同的探究学習を推進してきただけに、今一度細かく課題を検討し、よりよい方策を講じていきたい。同様に「国語の勉強は好きですか」項目が大きく下回ったことは、今後引き続き注視して改善に取り組む必要がある。

「算数」「外国語」に関しては、全国平均比に大きな差が見られなかっただけに、指導方法を検証し、現状打破に向けて、取り組みを進めていきたい。